

このコーナーでは赤ちゃん誕生を喜びご家族の姿を紹介します。



元気に生まれてくれてありがとう!!
すくすく、さらに元気に育ってね♡

あさだ さとみ
浅田 悟実くん (男の子) 3,322g
母：真紀さん 父：容広さん



和乃 夫婦のところにきてくれてありがとう♡
ハロロママ、ニコニコパパでたくさん楽しい思い出だね!!
女児1人2人に育ってね

にしかわ きこ
西川 希来ちゃん (女の子) 2,856g
母：瑞穂さん 父：勇斗さん



元気に産まれてきてくれてありがとう!!
4人で仲良く幸せに過ごそうね♡

たかはし いき
高橋 生来ちゃん (女の子) 2,626g
母：愛さん 父：将彦さん

ストーブ火災に注意!!

寒い冬に欠かせない暖房器具。中でも、ストーブを使用する家庭が多いと思います。ストーブは冬季のみの使用にも関わらず、毎年、火災原因の上位に位置し、多くの死者が発生。令和2年に全国で死者が発生した住宅火災原因を見ると、たばこに次いでストーブが多いため、使用时には注意しましょう。

可燃物とストーブの接触事例

- ・ストーブをつけたまま就寝。寝返りした際に布団が接触
- ・ストーブの上で乾かしていた洗濯物が落下して接触



スプレー缶による事例

- ・ストーブ付近に置いていたスプレー缶が熱で破裂
- ・ストーブ付近でスプレーを使用して引火



電気ストーブと石油ストーブで火災件数が多いのは？

電気ストーブは裸火や燃料を使わないなどの理由で、石油ストーブに比べ安全と考える方が多いのではないのでしょうか。しかし、過去の統計から電気ストーブによる火災は、石油ストーブによる火災の2倍以上も発生しています。原因の多くは「可燃物との接触」。電気ストーブは危険性を認識されにくく、使用時に可燃物との距離が近くなる傾向があると推測されます。

「火を使用している」認識を

冬は空気が乾燥するため、火災が発生しやすい時季。ストーブ火災の原因の多くは、使用者の不注意や不適切な取り扱いによるものです。ストーブの使用時は「火を使用している」という認識を持ち、火災を未然に防ぎましょう!!

住宅用火災警報器を設置しましょう!
市内「全世帯訪問」
5カ年プロジェクト実施中(令和3年～7年度)

問 消防本部 (TEL 0772-62-0119) ホームページもご覧ください。

京丹後市 消防本部 検索

全国版救急受診アプリ「Q助」

～症状の緊急度を素早く判定！救急車を呼ぶ目安に！～

突然けがや病気が発生した時、救急車を呼ぶ？自力で病院へ行く？様子を見る？などどうすれば良いのか悩んだことはありませんか？消防庁がWEB版とスマホ版で提供している無料アプリ「Q助」は、当てはまる症状を選択するだけで、患者さんの緊急度と必要な対応を教えてください。※アプリ利用時の通信料は利用者負担です。



操作方法

※選択する症状によって操作画面の進み方が異なる場合があります

①Q助を起動



[iPhone]



【Android】



【Web版】



※利用規約に同意してから利用してください。

②該当する症状を選択



緊急度の目安を赤・黄・緑・水色で表示します。

赤:緊急度が高いため、すぐに救急車を呼びましょう

※この場合のみアプリから119番へ通報可能

黄:できるだけ早めに医療機関を受診しましょう

緑:緊急ではありませんが、医療機関を受診しましょう

水色:引き続き、注意して様子を見ましょう

③年代を選択



④結果画面の表示



選択した症状が表示されるので、この症状を119番への通報時に伝えとスムーズに対応できます。

突然のけがや病気が発生し、救急車を呼ぶか判断に迷った時に「Q助」が使えるよう、お気に入り登録やダウンロードをしておきましょう。

また「#7119 (救急安心センターきょうと)」や「#8000 (小児救急電話相談)」の電話相談で症状や医療機関のアドバイスを受けるシステムも利用してください。